

令和7年分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和7年分について、輸出額は「写真用・映画用材料」などが増加したものの、「石油製品」、「電気回路等の機器」などが減少したことから対前年比8.7%の減少となった。また、輸入額は「液化天然ガス」などが増加したものの「原油及び粗油」、「自動車」などが減少したことから、同13.5%の減少となった。
その結果、差引額は1兆512億円（同17.7%の減少）となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	1兆0,243億円	▲8.7%	2兆0,756億円	▲13.5%	▲1兆0,512億円	▲17.7%
5年ぶりの減少		2年ぶりの減少				

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率	
輸出	増加品目	(1)写真用・映画用材料	378億円	+39.7%	輸入	増加品目	(1)液化天然ガス	3,536億円	+2.1%	
		(2)自動車の部分品	1,022億円	+10.3%			(2)生ゴム	450億円	+17.4%	
		(3)プラスチック	600億円	+12.6%			(3)自動車の部分品	104億円	+50.6%	
	減少品目	(1)石油製品	572億円	▲32.6%		減少品目	(1)原油及び粗油	1兆0,969億円	▲17.5%	
		(2)電気回路等の機器	652億円	▲28.8%			(2)自動車	421億円	▲42.5%	
		(3)鉱物性タール及び粗製薬品	282億円	▲33.5%			(3)石油製品	894億円	▲25.2%	
	地域別動向	アジア、北米が減少、大洋州は増加				地域別動向	中東、アジアが減少、中東欧・ロシア等は増加			

（参考）ドルレートは、149.69円（前年比0.8%、1.28円の円高）であった。

（注）年間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。